

「陸前高田市男女共同参画計画（案）」に関するパブリックコメントの実施結果について

本市の男女共同参画社会を推進する施策の基本方針を定める「陸前高田市男女共同参画計画」の策定にあたり、素案を作成したことから、市民の皆様から広くご意見等をお伺いするため、パブリックコメントを実施しました。

お寄せいただいたご意見と市の考え方は下記のとおりです。様々な貴重なご意見をいただきありがとうございました。

1 意見募集期間

令和4年2月21日（月）から3月22日（火）まで

2 意見等の内訳

区分	件数
基本目標1～3	2
基本目標1	1
基本目標2	1
基本目標3	1
基本目標4	3
基本目標5	4
基本目標6	5
関係資料	4
計画全体	5
計	26

3 お寄せいただいたご意見の概要と市の考え方

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	基本目標1「社会全体における男女共同参画の推進」 基本目標2「家庭における男女共同参画の推進」 基本目標3「地域における男女共同参画の推進」	<p>セクシャルマイノリティ※1に関する記述が少ない。LGBTQ+※2（SOGI※3）についての理解が必要なのは、大人・家庭・地域社会だと考える。男女共同参画はジェンダー※4平等が元の言葉なので、「性（別）」の平等を男女共同参画計画の中で積極的に取り入れ、考える必要があると思う。</p> <p>※1 性的少数者 ※2 セクシャルマイノリティの総称の一つ ※3 性的指向・性自認 ※4 社会的・文化的に形成された性別</p>	<p>あらゆる分野において、性別を問わず誰もが対等な構成員として参画することが求められていることや、性の多様性を考慮した上で、「誰もが」という表現で男女共同参画について記載しています。</p>
2	基本目標1「社会全体における男女共同参画の推進」 基本目標2「家庭における男女共同参画の推進」 基本目標3「地域における男女共同参画の推進」	<p>情報発信は大切であり必要だが、取り組むべきことはもつとあるのではないかと考える。</p> <p>例えば、市の「防災マイスター※5」に「災害とジェンダー」についての回を組み込むことや内閣府でも推奨しているリプロダクティブヘルス/ライツ※6や、ジェンダー平等・ジェンダーベイトバイオレンス※7などについて市職員が学び、研修を積むなどでもできる（必要）と思う。国連は「災害時に支援者になりうる人たちは、平時にジェンダーに基づくトレーニングをする必要がある」としている。陸前高田市はSDGs未来都市をはじめ、国連（JICA）等とのつながりなどがあり、高い取組を目指していると認識している。市職員や意思決定の場にいる方々が実践的にジェンダー平等を学ぶ必要があるのではないかと考える。</p> <p>※5 将来の大規模災害の発生に備え、防災に関する知識や技術を習得し、地域における防災リーダーとして認定された人 ※6 性と生殖に関する健康と権利 ※7 ジェンダーに基づく暴力</p>	<p>まちづくり総合計画やその他関連計画の実現のため、本計画においても基本事業及び取組内容について共通する部分は同様に設定しています。</p> <p>市職員においては各種事業を実施する上で、様々な機会を捉え見識を深めて参りたいと考えております。</p> <p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
3	基本目標1「社会全体における男女共同参画の推進」	女だから、男だから、こうに決まっているという昔からの慣習や町の雰囲気を覚えることが日常の中で多くあるが、対話をしていくと理解してもらえる部分もある。誰しもが自分らしく生きていけるためにも、より一人一人の価値観や個性を大事にできる町にしていけたら嬉しい。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
4	基本目標2「家庭における男女共同参画の推進」	児童が安心して遊べる場所の確保・整備はとても大事だが、公園なのに利用時間が制限されていたり、子供たちが遊んでいる間に親が休憩できる場所がなかったり、立地的に強風が常に吹いている場所で冬はとても寒い。子供たちが安心するだけでなく、一緒に同伴している方への安心感の確保も設計する必要があると思う。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
5	基本目標3「地域における男女共同参画の推進」	持続可能な開発目標についてどのように周知するのか。また、周知した結果の成果はどのように測るのか。	持続可能な開発目標（SDGs）については、全庁的に推進を図っているところです。 今後も広報、市ホームページ等のほか、様々な機会を捉えて周知に努めてまいります。
6	基本目標4「職場における男女共同参画の推進」	「働きやすさ」に関する意識調査も必要だが、賃金格差（年金受給額も）や意思決定の場の男女比なども数値化される必要があるのではないか。企業向けにアンケート調査を行うなどでも測れると思う。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
7	基本目標 4 「職場における男女共同参画の推進」	<p>男性の育休の取得率と復職のしやすさ（意識の面と取得の際のまわりの雰囲気・復職後の賃金差等）、長時間労働の実態等も調査すべきではないか。また、ワーク・ライフ・バランス※8 に関して、「取組」の内容に具体性が欠けるため、「誰が何を行うのか（誰が何を行う必要があるのか）」を明示してほしい。</p> <p>※8 仕事と生活の調和</p>	<p>職場における男女共同参画の推進のため、市民や事業者が目指す内容を、「市民ができること」「事業者ができること」として追記します。</p>
8	基本目標 4 「職場における男女共同参画の推進」	<p>ハラスメント※9 等の「情報発信」では、ハラスメントしている人には届かないことが多いと考える（もちろん必要）。市職員が研修を重ね、市職員による研修などを企業等に実施していくことなども考えられないか。</p> <p>※9 嫌がらせやいじめ等により、精神的苦痛を与える行為</p>	<p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>
9	基本目標 5 「教育の場における男女共同参画の推進」	<p>「豊かな心」や「思いやり」だけで差別はなくなる。差別には個人のレベルで起こるものもあるが、構造的な問題から生じるものである。差別が生じる構造（同じでなければならない教育やジェンダーバイアス※10 によるジェンダーロール※11 など）に目を向け、それらの改善に努める教育環境の整備が差別をなくするためには必要となる。教師への研修（学び合い）や実践は欠かせず、そうした取組を推進する必要があると考えるが、そうした取組が記載されないのか。</p> <p>※10 男女の役割について固定的な観念を持つこと ※11 社会生活において、性別によって固定的な役割を期待されること</p>	<p>学校教育の場における人権教育の推進のため、教員を対象とした各種研修の充実を図っているところです。</p> <p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
10	基本目標 5 「教育の場における男女共同参画の推進」	<p>進学率について男女別で結果が異なる可能性がある。子どもたちが自分の望む進学先（大学進学そのものや学部を選択など）を選択できたかどうかの割合等もアンケートで数値化できるのではないかと考える。これは教育格差の問題でもあるが、ジェンダーロールが学校で行われている可能性とも関係する問題と考える。進学先の選択に社会的な要因が大きく影響していることは事実だが、アンケートが「理系に進学する男子」や「ケアに関する学部に進学する女子」などに仮に分かれたとした場合、学校の理科の実験を男子生徒ばかりにさせていなかったか、ケアに関わる実習には女子生徒ばかり配置していなかったかと振り返り改善していくきっかけになると思う。</p>	<p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>
11	基本目標 5 「教育の場における男女共同参画の推進」	<p>「性に関する基本的知識の普及」とあるが、これはどのように行われるのか。仮に男女別に分かれて年に一度行われる程度であれば難しいのではないかと考える。また、女子トイレに生理用品を無償で配置する自治体などもあるが、陸前高田市としてはそのような取組は行っているのか。「性に関する基本的知識」を普及するというのであれば、そうした実践的な取組とセットで行われるとよいと考える。</p>	<p>まちづくり総合計画やその他関連計画の実現のため、本計画においても基本事業及び取組内容について共通する部分は同様に設定しています。</p> <p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
12	基本目標 5 「教育の場における男女共同参画の推進」	<p>意識調査の結果では、「学校教育の場」で男女の地位の平等の割合が高いとされているが、これはリプロダクティブヘルス/ライツの教育や、格差や貧困の問題などに子どもたちが触れる機会があり、なおその結果であれば「高い」と言えると思うが、そうでなければ、実態を知らないままということも十分あり得る。「人権尊重の教育」という記載もあるが人権教育は具体的にどのようなものが行われているのか（道徳と人権教育は別）。人権教育が不足している場合、「思いやりのある」子どもはアンケートを「思いやりのある」回答を選ぶ可能性もある。そうした視点を持って子どもたちにアンケート調査が行われているのか、学校教育への取組を考えているのか疑問に思う。</p>	<p>意識調査の結果は、中高生及び20歳以上の方々からいただいた回答によるものです。</p> <p>学校教育の場においては、授業や学校行事など教育活動全体を通じて、発達段階に応じた人権教育を行うこととしています。</p>
13	基本目標 6 「安心して暮らせるまちづくりの推進」	<p>「命の大切さ」や「暴力をふるってはいけない」の周知だけで暴力はなくせません。「意識啓発」の中身自体を見直す必要もあると思う。</p>	<p>あらゆる暴力の根絶に向けて、市民が目指す内容を「市民ができること」として追記します。</p>
14	基本目標 6 「安心して暮らせるまちづくりの推進」	<p>相談員の配置などは非常に重要と思う。「助けて」と言えることや逃げられる場が多く創られていくことが重要と思う。これはジェンダーロールの問題でもあり、たとえば「男だから泣くな」といったジェンダーバイアスが感情と言語化を抑制し暴力を選択させることもある。災害後の生活で男性の孤立などは多くあり、この町はそうしたことを痛いほどわかっているはず。ジェンダー平等はそうした意味でも非常に重要なものであり、情報発信などに留まらず積極的な取組が必要ではないか。まずは、ヘルプシーキング※12という名目で研修を重ねる（特に男性）ことが望ましいと思う。</p> <p>※12 一人で抱え込まず、周囲に助けを求める行動</p>	<p>市民が目指す内容を「市民ができること」として追記します。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
15	基本目標6「安心して暮らせるまちづくりの推進」	<p>スポーツは大変重要であるが、なぜスポーツのみが大きく記載されているのか。音楽や芸術活動（絵画や手芸、俳句など）なども同様に重要である。これらが記載されていないことも、うがった見方をすれば男性優位な考え方のようになってしまうが、この計画書は女性やマイノリティ※13の意見が反映されたと考えてよいのか。もちろん、スポーツが好きな女性も多いのは事実だが、「心身ともに健康」の「心」の部分が大切にされておらず、スポーツ以外のケア的な活動が（「はまかだ」がそれに当たるのかもしれないが）強調されていないことに疑問を抱いた。</p> <p>※13 マイノリティ …少数派</p>	<p>まずもって、本計画案については、各種団体や企業の役員の方々、男女共同参画サポーター等の知識経験を有する方々の15名（男性7名、女性8名）で構成する市男女共同参画計画策定委員会において協議いただき策定しています。</p> <p>「(2)生涯にわたる健康づくりの推進」の施策の方向については、「文化活動」を追記し、「生涯にわたるスポーツや文化活動などのレクリエーション活動を推進します」とします。</p>
16	基本目標6「安心して暮らせるまちづくりの推進」	<p>「性の多様性への理解」は情報発信だけでは難しい。研修を積むことはもちろん、例えば、多様な人を想定した避難・防災訓練を行ったり、多様な人とともに創作活動をしたりすることが重要である。マジョリティ※14特権の教育も欠かせない。こうした取組を積極的に行う必要があると思う。</p> <p>※14 マジョリティ …多数派</p>	<p>市民が目指す内容を「市民ができること」として追記します。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
17	基本目標6「安心して暮らせるまちづくりの推進」	<p>実際に私には性的マイノリティの友人が数人いるが、私自身も友人に打ち明けられるまでは身近ではない存在だったので、性的マイノリティの方が実際にいることを信じられない方もいると思う。身近な信頼できる人だから打ち明けてくれたと思うので、市として人数を把握できることでもないと思うが、この町で暮らしにくいと感じている人がいることは事実である。「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまち」を掲げているのであれば、この分野は大切に丁寧に挑戦していただきたい。</p> <p>また、基本目標6に対する成果指標は健康づくりだけだと、性的マイノリティに関して含まれないように感じるので、「市民の“心身”の健康づくり」と心の面を入れる方が良いと思う。</p>	<p>多様な性の尊重と性的マイノリティへの偏見の解消や理解の促進のため、市民が目指す内容を「市民ができること」として追記します。</p> <p>また、まちづくり総合計画やその他関連計画の実現のため、本計画においても成果指標について共通する部分は同様に記載しています。「市民の健康づくり」は心身の健康づくりとして、今後も取り組んでまいります。</p>
18	関係資料(男女共同参画をすすめるための意識調査)	<p>1,000人へのアンケートとなっているが、その妥当性はどのようなものか。また、1,000「人」ということだが、1,000「世帯」へ配布ではないか。</p>	<p>アンケート(男女共同参画をすすめるための意識調査)における20歳以上の1,000人については、男女別、年代別、地域別に偏りが生じないよう配慮の上、住民基本台帳から無作為に抽出を行っています。</p> <p>また、20歳以上の1,000人の方には、個人宛てに郵送し、個人として回答を依頼していますので、単位は「人」となります。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
19	関係資料(男女共同参画をすすめるための意識調査)	アンケート結果は、男女に分けた結果を示す必要があるのではないか。	男女別、年代別の集計結果は、市ホームページに掲載します。
20	関係資料(男女共同参画をすすめるための意識調査)	中高生の結果は、人権教育・性教育がなされた上での結果なのか。	中高生は、学校教育の中で、人権教育、性教育を学習している段階であります。特に、中学生への調査は、学校の協力のもと、教員から調査の意図などを説明いただき(回答を誘導するものではありません)、中学生に回答いただいています。
21	関係資料(男女共同参画をすすめるための意識調査)	アンケートに、男女別に管理職に就いている人数や労働時間、賃金など数値で測れるものも必要と思う。	ご意見につきましては、参考とさせていただきます。

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
22	計画全体	<p>意識調査だけでは見えないことがあるという自覚と、政策側の意識変革の必要性を感じる。「男女平等になってると思うかどうか」といった意識を問うものでは男女平等の実態は見えない。すなわち実現もしない。男女別で結果を分けているならまだしも、分けずに結果を出しては仮に女性の多くが「平等になっていない」と言っても、全体の半数を占める男性が「平等になっている」と言えば「平等になっていない」という結果は最大で 50%にしかなり得ない。それは力の強い方（男性）の論理に過ぎないにも関わらず「半分が平等だと答えている」となり得る。男女平等の問題はそうした力関係の傾きの問題と考える。意識でどうにかなる問題ではない。仮に「男女平等になっている」と言う「意識の高い」「思いやりのある」男性がいるとする。そうした男性が集まって、そうした男性たちだけで会議が行われ物事を決めた場合、その中身は女性にとって平等な決定となり得るか。生理用品のこともそうだが、男性だけではわからない・気づかないことというものがある。「思いやりがある」という言葉により「気づかない」という事実は「仕方ない」とされ、うやむやにしてしまうことすらある。こうした問題意識を持つようにして、取組を考え直してほしいと思う。</p>	<p>男女共同参画社会の実現のためには、市民・地域・事業者・行政等がそれぞれの責任を自覚するとともに、相互に連携を図る必要があります。社会のあらゆる分野において、市民一人ひとりが、日々の生活の中で様々な活動や情報を通して自ら気づき、男女共同参画による取組を進めていくことが必要と考えています。</p> <p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
23	計画全体	<p>男女平等の問題は差別の問題であり、差別の問題は個人の心の問題だけでは決してなく、構造上の問題である。上記のように、「思いやり」があっても悪意なく差別は起こってしまい、それによって傷つき、我慢をさせられるのはマイノリティ側である。つまり、差別の問題はマジョリティ側の問題であり、ここで言えば男性側がより積極的に考え学ぶべき問題である。マジョリティ特権の自覚を男性（特に意思決定の場に就く権力のある男性）がする必要がある。女性や性的マイノリティの方たちがきちんと力のあるポジションに充てられ、共に排除や差別をなくしていかなければならない。情報発信は重要だが、それだけでは不可能なため、構造上に目を向けた積極的な取組が必要と考える。</p>	<p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
24	計画全体	<p>この計画では子どもたちに対して「教育」が語られているが、大人こそ教育を受けなければならないと感じる。研修を積む必要がある。子どもたちは当然、大人を見て育ち、幼稚園・学校や町のつくりに沿って「ここに誰がいるのか」を学ぶ。家庭でのジェンダーロールや男尊女卑的な言動を見て「ふつう」を学び、学校や町の政策・つくりなどからバイアスを身に付けていく。仮に学校の先生が全員男性だったら、女子生徒は将来先生に就くことを男子生徒より描けないだろう。仮に町で目にする看板が男性向けのものばかりであれば、女性がこの町で歓迎される存在ではないと感じたり、性的マイノリティの方は「存在に気づかれてすらいない」と思うこともある。すべてを網羅することは大変困難であることは理解するが、アンコンシャスバイアス※15を含め、大人たちがもっとジェンダーバイアスやマジョリティ特権について学ぶ必要があると考える。子どもたちが大人である私たち（の取組）から学んで育つということ意識し直す必要があるのではないかと思う。</p> <p>※15 無意識の思い込み</p>	<p>基本目標5「教育の場における男女共同参画の推進」において、「(2)家庭・地域における人権教育の推進」に、人権教育の大切さについて普及啓発を図ることを記載しています。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
25	計画全体	<p>全体を通して、“市民満足度調査”とあるが、この調査は無作為に選ばれると思うが、項ごとの対象者は様々と思う。子供を産み育てる環境については現役の親世代の回答が重要、仕事と生活の調和や男女共同参画の推進に満足している人の割合については男女その他で分ける必要があると思うが、調査のまとめ方や分析の仕方も項ごとに合わせて目標値を設定しているのか。もし、全世代全回答での目標であれば、時代や世代で考え方はもちろん違うので、その項にあった世代の回答を重視してもらいたい。</p>	<p>市民満足度調査は、まちづくり総合計画の策定にあたり、市のこれからのまちづくりに対する生活課題の重要性や、優先度を把握し、計画に市民の意見を反映させることを目的として実施し、まちづくり総合計画の成果指標に設定しています。本計画においても成果指標について共通する部分は同様に記載しています。</p> <p>ご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>
26	計画全体	<p>市民満足度調査は20歳以上の無作為の1,000人とあるが、年代として20代から70代まで均等人数なのか。回答の偏りだけでなく、選出の際に偏りが生じていることはないのか。そして、せっかく調査をするのであれば、送った方へは回答がもらえるような仕組みや、回収率をあげるための仕組みも必要であると思う。</p>	<p>市民満足度調査は、19歳以上の市民2,000人を対象としています。</p> <p>また、今回の意識調査は、20歳以上の1,000人については、男女別、年代別、地域別に偏りが生じないよう配慮の上、住民基本台帳から無作為に抽出を行っています。</p> <p>なお、男女別、年代別の集計結果は、市ホームページに掲載します。</p>